

【小学部】

《自由作文》

てつがく「公平ってなに？」 こうへい（3年）
公平は、おやつのようにみんなおなじとか、からだの大き
さでりょうがちがうとか いろいろな公平がある。

好きな作家 ほの（6年）
私のとくに好きな作家はおもに3人です。

1人目はエーリヒ・ケストナーさんです。ケストナーさんは、「ふ
たりのロッテ」や、「エーミールと探偵たち」や、「エーミールと3人
のふたご」などを書いています。他にも色々な作品がありますが、私
はこの3つがお気に入りです。ケストナーさんの本のだい名は、ほと
んどが「何、それ？」ってなっちゃうようなのが多いです。たとえば、「飛
ぶ教室」（これも大好き）や、「五月三十五日」、「エーミールと3人の
ふたご」、「ふたりのロッテ」などです。文章が読みやすいのもポイン
トです。なれないと、えっ？てなるけれど。

2人目は、ロアルド・ダールさんです。ロアルド・ダールさんの作品は、
「チョコレート工場の秘密」や、「ガラスの大エレベーター」「マチル
ダは小さな大天才」など、色々あります（私が好きなのはその3つ）。

《プロジェクト紹介》

木工 じゅう ゆうと（5年）

どうして作ったのかというと、なつやすみに、1ばつじゅうを
つくったので、2～3ばつの木工じゅうをつくってみたかったか
らです。

つくりかたは、まず、はぐるまやじゅうのいたなどを紙にかき
ます。つぎに、木にそのかみをはり、その木にはったかみのかたち



にきります。それで、ぶひん
はかんせいです。それから、
ぶひんをくっつけて、すべて
かんせいです。 かかったじ
かんは1ヶ月半ぐらいでし
た。 がんばったところは、
はぐるまのはのところでは
す。 反省点は、ちょっとぎつに
きってしまったところです。
次にやってみたいことは、今
の木工じゅうに、スコープを
つけることです。

【中学部】

《ワールドオリエンテーション》
「差別～誰もが安心して暮らせる世界へ～」

2学期は「差別～誰もが安心して暮らせる世界へ～」を
テーマに、社会でおこりえる差別について考えました。学
習はセクシャルマイノリティ、ハンセン病、同和問題、在
日コリアンなど様々な立場で生きている人々を知ることか
ら始まりました。「なぜ差別はおこるのだろう？」「どうし
たら誰もが安心して暮らせるのだろう？」そんな問いに触
れながら、子どもたち自身がテーマを選んでいきます。

個人テーマは、民族や肌の色の違いから生まれる差別・
違いは身近ないじめにもつながるとまとめた『人種差別』。
国民総幸福量（GNH）から安心して暮らせる社会を考えた
『ブータン』。歴史と現状・生活の中でおこる不平等につい
て調べた『部落差別』。アイヌ民族の歴史と文化・関連す
る法律、現在も残っている差別についてまとめた『アイヌ
差別』。ホームレスの人の生活や、その中で直面する大変な

文章も独特で、私は好きですが、あまり好きになれない人も多いよう
です。ちなみに、私のママは苦手です。でも、読みやすくていいです。
読書のあまり好きではない人にもオススメです。

3人目は、アストリッド・リンドグリーンさんです。リンドグリー
ンさんの作品で私が特に好きなのは、「長くつしたのピッピ」のシリー
ズや、「やまかし村」シリーズ、「おもしろ荘」のシリーズ（「おもしろ
荘の子どもたち」「川のほとりのおもしろ荘」）と、「エミール」の
シリーズです。リンドグリーンさんはシリーズが多いです。ちなみに、
私はお先に、リンドグリーンさんの「エミール」シリーズにハマって
いて、ママにもっとほしいって言ったら、ママがまちがえて、ケスト
ナーさんの「エミール」のシリーズを買って来てしまい、そこから
エミールもお気に入りの1つになりました。 ケストナーさん、ロ
アルド・ダールさん、リンドグリーンさんの本はいっぱいあって、ま
だまだ読みたいです。他の人も、私がオススメした本を読んで、おも
しろいって言うてくれたらうれしいです。 それに、好きな本の話
を友達とできるのは、とてもたのしいし、うれしいと思います。

木工のまち そら・やまと（1年）

（や）どうしてまちをつくりたかったかということ、まちをつくりたかったからです。
（そ）どうしてまちをつくりたかったかということ、きょうどうでつくりたかった
からです。

（や）まず、じゅんぴするものは、いた、くろいがようし、白がようし、ペン、さ
いだんき、木。

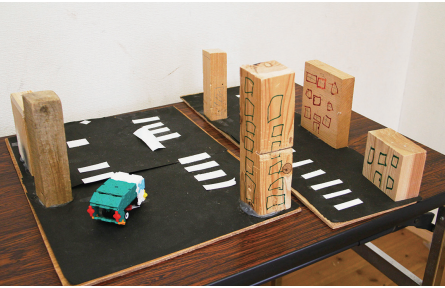
（そ）まず、いたにくろいがようしをはります。そして、おうだんほうにみえる
ようにさいだんきでできます。 そして、ビルみたいにみえるように木にペ
ンでまどみたいにかきます。ラキューでくるまをつくってかんせいです。

（や）むすかしかったところは、きる
ところでは、

（そ）むすかしかったところは、ボ
ンドでキをつけるところです。

（や）まちのみちをもうちょっと
ふやしたらよかった。

（そ）おうだんほうをもうちょ
っとつけたほうがよかった。



ことについて調べた『ホームレス』。不当な扱いを受けてい
る児童労働への疑問から始まった『児童労働について企業
に聞いてみた』など。本や新聞・インターネットで情報を
集める、動画やSNSにある差別的な表現を調べる、関連
する人にインタビューをする、企業に電話やメールで問い
合わせ自分で確かめてみることなど、思い思いの方法で調
べていきました。 そうして迎えた発表の日。「差別があっ
たことを知らなかったのが驚いた。」「差別は知らないから
生まれる。まずは現状を知ること。」「誰かが何とかして
くれると期待するのではなく、自分が変わる。こと。たとえ最
初は一人でも共感して応援してくれる人が集まる。」「偏見
に流されない、関わりを持つ、過去を忘れない。」子ども
たち一人ひとりの視点で取り組み考えたことを、それぞれの
言葉で表現する時間になりました。（高原）

認定NPO法人箕面こどもの森学園の事業活動 9月～12月

親と子の土曜クラス『そら』



12月のそらは「もちつき」。庭の真ん
中に置かれた大きな石臼や杵、餅箱、そ
してお湯を沸かすロケットストーブが
「もちつき」へと気持ちを盛り立ててく
れます。

「今日はおもちつきだよね。」「きな粉
餅が好き～」と子どもたちの声が飛び交
います。子どもたちがいつものように
室内遊びをしていると、大人たちはもち
米を蒸したり、まきを割ったり、火を熾
したりと「もちつき」の仕事を始めまし
た。子どもたちは吸い込まれるように
外へ飛び出し、それぞれの仕事を観察し
たり、やらせてもらったり…。そして蒸
しあがったもち米が大きな石臼に入ると、
みんなの気持ちが一つになりました。

♪ぺったんぺったんおもちつき♪お米
がどんどんお餅になっていきます。つき
手のリズムに合わせて「よいしょ!!」
と掛け声がかかり、ついてない人も力
が入ります。行事には、その季節の自然
が根っこにあり、目的に合わせた道具
があり、人の仕事があり、そして人の環
でモノゴトが進んでいきます。

子どもたちは、この自然とモノと人の
息遣いのなかで、いろんなことを学ん
でいくのだと思います。「そら」が始ま
って半年が過ぎ、温かい人の環のなか
で、心地よくって美味しい「もちつき」
ができました。これからも「健やかな育
ちの環境」を大切にしていきたいと思
っています。（西川）

レシートキャンペーンの推移

ここ数年間のイエローレシートキャ
ンペーンの参加者の変化について報告

します。私がキャンペーンの法人窓口
担当になって5年目になりますが、最
初の2年間の参加メンバーは運営委員
だけでした。 14年度から保護者の
運営委員が子ども連れで参加されるよ
うになり、年11回中5回子どもさん
の参加がありました。15年度からは
一般の保護者のご協力が得られるよ
うになって、内4回は子どもさんと一緒
の参加でした。16年度からは「きん
かんの会」（保護者会）の全面的なご
協力で、4月から12月まで連続して子
ども同伴の保護者の方々がキャンペ
ーン活動を担われました。 いまやキャ
ンペーン活動の中核は保護者と子ども
たちに支えられています。（松崎）

はじめての秋のロハス

10月15日、暑いぐらいの好天に恵ま
れるなか、「よってみよう やってみよ
う 感じてみよう収穫祭」をテーマに“ロ
ハス in こどもの森”を開催いたしました。
従来の春開催からこの時季への変更
となりましたが、“人と地球にやさしい
お店の大集合！”は変わりなく、在校生
、卒業生、保護者、そしてご近所のみな
さまにもお越しいただき、賑やかなひと
きとなりました。

前回につづき、卒業生による出店や音
楽ライブ出演がイベントを盛り上げてく
れました。加えて、今回はなんと在校生
のお菓子等の販売も！みなさまの溢れる
笑顔が何物にも代え難い収穫です。

ご参加・ご協力いただいたみなさま、
ほんとうにありがとうございました！
（道）



子育てカフェ
～お母さんにほっと
ひと息ついていただける場～



9月から12月まで「子育てカフェ」
を開催させていただきました。明橋大二
先生の「子育てハッピーアドバイス」を
ベースに「自己肯定感の育み方」を様々
な角度からお伝えしているこのカフェ。

この4か月間は「聴き方、伝え方、ほ
め方、叱り方」などコミュニケーション
を中心にお伝えさせて頂きました。講座
の後のシェア会では、参加された方々が
、それぞれ様々な悩みを語られ涙される場
面がありました。頂いた感想では、「自
分と同じような悩みを持っている人がい
るという事を知った」「悩んでいるのは
自分だけではないという心の支えになっ
た」などの声が寄せられました。（坂本）

NPO フェスタ 2016

11月20日にみのおキューズモール内
の箕面市民活動センター、かやのさん
べい橋、イオン箕面店前の3か所を会場
として箕面NPOフェスタが開催されまし
た。市内のNPO30団体が参加してゲー
ム、工作、スタンプラリー、パネル展等
が行われました。

私たちはかやのさんべい橋の上でパネ
ル展示を行い、道行く人々にこどもの森
についての紹介、説明を行いました。こ
どもの森に見学に来られた方に対するの
とは違って、予備知識を全く持っていな
い方に私たちの考えを理解してもらうこ
との難しさを感じました。それでも足を
止めて熱心に聞いて下さる方、質問され
る方もおられ、とても有意義な時間とな
りました。（芳仲た）

雑感

季節感豊かな子どもに！

2017年がスタートしました。

皆さん、どんなお正月をお迎えになられたのでしょうか。♪もういくつ寝るとお正月～♪の歌に歌われている風あげやこま回しなどの遊びは、すっかり減ってしまいました。店舗も大型スーパーは、元日から営業しているし、お正月の風情がうすれていくのは何とも淋しい限りです。

そんな中でも子どもたちへのお年玉は変わることなく、店舗にははやくからポチ袋などが売り出され、しかも年々派手になっているように思います。お年玉は、もともとお餅だったようで、年の初めに年神様から新年の魂を分けていただくと考えられていました。今の子どもたちは、お年玉がお餅だったらどう思うでしょうか？

昨年12月に親と子の土曜クラス「そら」で、お餅つきが行われました。本格的に石臼と杵でつきました。子どもたちはもちろんのこと、参加された保護者の方と

でも楽しく過ごされていました。準備するスタッフたちは、大変だったと思いますが、本物を味わえるってとてもいい体験です。季節感も減っている時代にとっても素晴らしい事だと思います。3学期には、こどもの森の子どもたちもお餅つきを計画しています。

以前、季節感を感じられなくなって、仕事をやめて故郷へ戻られた人の話を聞きました。毎日満員電車でゆられ、地下街を通り、オフィスビルで仕事をしていると季節がわからないという事でした。

子どもたちには、四季の変化を感じ、暑いときには暑い、寒いときには寒いと感じられる子になってほしいと思っています。五感をとぎすまして、いろんなものをみて、ふれて、体験して大人になっていくくれたらと日々願っています。

今年もよい1年でありますようにお祈りしています。(中村)

こんな学校に出会いたかった！！

♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪

2017年度の小学部・中学部の生徒募集しています！ 自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか？



募集期間：

小・中学生：随時募集

※定員に達し次第締め切ります。

募集人数：

【小学部】

2年生、4年生（男子のみ）

5年生（女子のみ）

各学年 若干名

【中学部】1年生 若干名

場 所：箕面市小野原西6丁目15-31

見 学 日：月・水・木

入学面接：ご相談の上で日程を決めます。

※見学、入学ご希望の方は学園事務局へご連絡ください。

TEL&FAX：072-735-7676

メール：info@kodomonono-mori.com



アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩15分。
：小野原バス停から徒歩20分。
：小野原南バス停から徒歩5分。

《編集後記》

新年明けましておめでとうございます。秋を楽しむ暇もなく寒くなり、体調を崩す方も多いのではないのでしょうか。昨年は国内海外と大きな出来事などが多かったと思います。変化の多い時代について行けるよう、子どもたちにはいろんな事をどんどん学んでほしいと思います。

本年もどうぞ、こどもの森学園をよろしくお願い致します。(日置)



韓国研修旅行

はじめての海外研修旅行で韓国へ！

韓国の代案学校(オルタナティブスクール)と交流しよう！、韓国について学んでこよう！ということで、10泊11日の韓国研修旅行へ。交流する学校は、提川ガンジースクール。今回は中学生6人とスタッフ2人で旅をして、代案学校見学で3人のスタッフが一部の日程を共に過ごしました。

こどもの森学園の旅行は子どもたちが自ら作っていくもの。それは長期海外旅行でも同じ。役割分担を決め、お金・交通・ホテル・観光・日本紹介とそれぞれの責任を担って準備をし、当日も担当が全員の案内をしました。



写真：ガンジースクールの仲間たちと

ガンジースクールでは、寮に泊まって共同生活を体験したり、ホームステイをしたり、実際の学習を体験させていただいたり、交流ワークショップで日本紹介紙芝居の上演をしました。英語やゼスチャー、翻訳機(スマートフォン)を使って何とかコミュニケーションを取りました。

観光では、北朝鮮との国境線近くまで行くDMZツアーや戦争と女性の人権博物館などを訪れ、そこでしかできない学びを経験しました。視野が広がり、自信もついた旅行になりました。(佐野)

テーマ学習発表会

『ちがいてなに？』

11月11日、2学期をかけて学習してきたテーマについて発表会を行いました。テーマ学習は、スタッフが提示したテーマの中で、こどもたちの興味関心により個々

やグループでの学びへと落とし込まれます。人はみんなちがいを持って生きている。今回、そのちがいを知った上で、誰もが安心して暮らせる世界にするにはどうしたらいいか、を問われてきた子どもたち。低学年では、当事者の方々と会って話す中で感情が大きく揺さぶられました。高学年では、いじめ問題や障がい、国の違いなどについて考えてきました。全体の質疑の場では、そもそもどうして差別が生まれると思うか、という質問に対し、自分と違ってだけで違う生物として見てるから差別になる、(親など)先代からの価値観があるから、などと意見を述べました。なかなか大人も考えさせられる発言です。誰もが安心して暮らせる世界にするには…身近なところでは、親やきょうだい、クラスの子を大切にすることにも目が向いていたようでした。(福田)

※ブログに日々の学習や当日の様子を記載しています。どうぞご覧ください。

みんなで企画した修学旅行

12月上旬、高学年クラスは修学旅行に行きました。4月に行き先を決めることから始まり、資金集めや宿の手配、しおり作りなど、クラスみんなで役割を決めて進めてきました。今年は和歌山県の白浜へ。

1日目には、海中展望塔や千畳敷、三段壁などの観光地をまわり、天気が良かったことも重なり、楽しさも倍増。それぞれに好きな場所で写真を撮ったり、笑顔いっぱい時間をすごしました。



2日間のスケジュールもみんなで決めてきたので、変更も自分たち次第。何度かの

発行日：2017年1月15日

発行者：認定NPO法人 箕面こどもの森学園

〒562-0032

大阪府箕面市小野原西 6-15-31

tel&fax 072-735-7676

e-mail info@kodomonono-mori.com

URL http://kodomonono-mori.com

ユネスコスクール

Member of

United Nations

Educational, Scientific and

Cultural Organization

Associated Schools

ピンチ(?!)にも、そのその度に確認を取り合い、臨機応変に対応しました。

2日目はお楽しみのアドベンチャーワールドへ！パンダやイルカなど、普段見ることのできないかわいい動物たちにうっとり。お土産をたくさん買って大阪にもどりました。年明けの研究発表会では、準備から実行までの過程を発表します。4月からどんなことを感じて進めてきたのか、それぞれの声を聞くのが楽しみです。(藤丸)

「たのしい！」お泊り会



12月8日、9日に低学年のお泊り会が開かれました。今年は約1ヶ月の話し合いを経て、高学年がいない広々とした小学部校舎で「遊びつくす」計画となりました。自分の体と変わらない荷物と寝袋をかかえて来校した子どもたちは、朝、少しそわそわした様子でした。しかし実際に遊びが始まると、ルールの確認も進行も担当の子を軸に臨機応変に進んでいきます。

午前は爆弾ゲーム、ドッジボール、はんかち落とし、氷おに、午後は進化じゃんけん、しっぽとり、イス取りゲームと合計7つの遊びをしました。そして夕食にはビーフシチュー、鮭茶漬けと2種類のメニューを準備して満喫し、夜は天体望遠鏡で月を見たり、庭で花火、校舎の近くを散歩したりと、普段の学習日とは違った時間が流れていました。私が小学生の頃には学校で一日遊んで泊まれる日など想像もつきませんでした。皆で過ごした一泊二日、ふいにこぼれる「たのしい」の声がその大きさを教えてくれました。(鈴木)